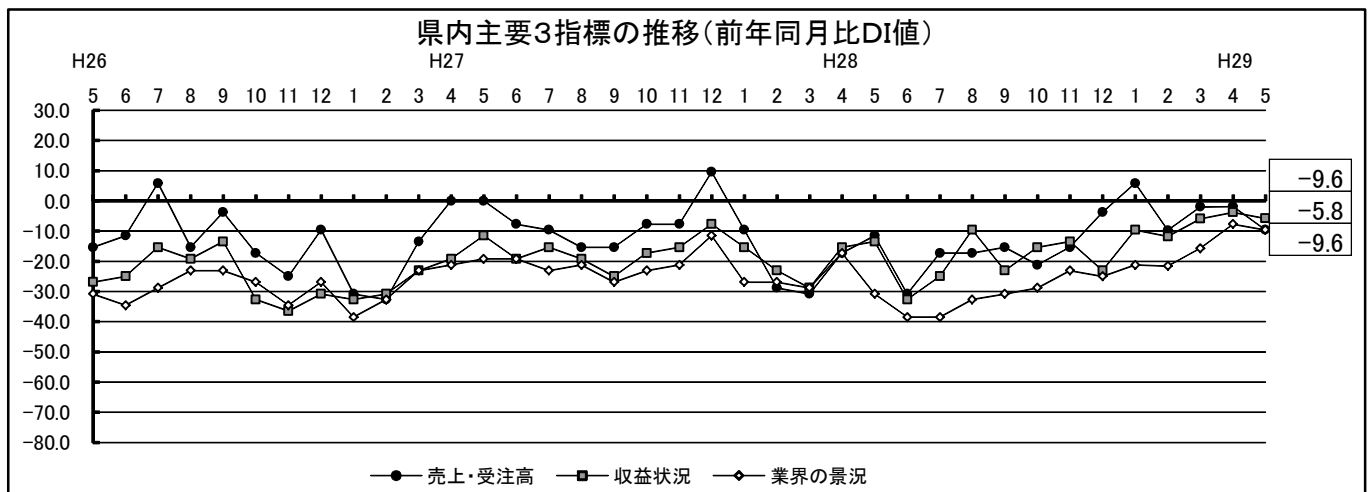


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年5月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 5月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」の3指標が上昇した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より7.7ポイント下降の-9.6ポイント、「収益状況」が1.9ポイント下降の-5.8ポイント、「業界の景況」が1.9ポイント下降の-9.6ポイントであった。
- 県内企業においては、4月度の調査で低下していた「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」が若干の回復を見せた。しかし、その一方で、輸入費用の上昇や内外大手との価格競争等も継続しており、なかなか収益率の上昇に繋がらない状況である。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-9.6	-7.7	-10.2	1.6
収益状況	-5.8	-1.9	-17.1	0.0
業界の景況	-9.6	-1.9	-18.3	1.6

売上・受注高

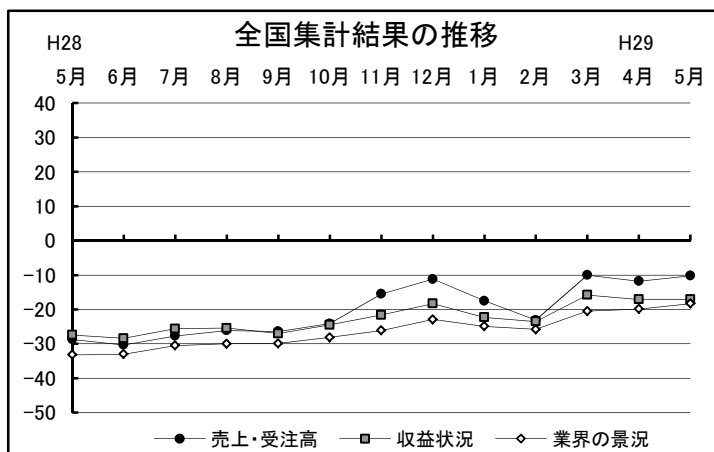
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より7.7ポイント下降の-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より1.6ポイント上昇の-10.2ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント下降の-5.8ポイントとなった。全国においては、前月と変わらず、-17.1ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント下降の-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より1.6ポイント上昇の-18.3ポイントとなった。



-概 況-

5月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「価格」「設備」「雇用」が改善し、「売上」「在庫」「条件」「収益」「資金」「景況」の6指標が悪化した。主要3指標は、「売上」が前月より7.7ポイント下降の-9.6ポイント、「収益」が1.9ポイント下降の-5.8ポイント、「景況」が前月より1.9ポイント下降の-9.6ポイントであった。指標を個別に見ると、5月は3指標で上昇傾向を示しているなかで、特に「設備」が10ポイントを超えて大きく上昇した。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、3業種が下降した。「収益」は製造業で2業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で2業種が下降した。「景況」は製造業で2業種が上昇、3業種が下降し、非製造業では1業種が上昇、2業種が下降した。

地政学リスクが若干の低減となり、中国市場の復調等に伴って全体として輸出関連の好調が継続しているが、県内においては業態により景気の良いところと悪いところがあるように見受けられる。また、内外の過当競争や人手不足にも一層の拍車が掛かっており、経営コストの上昇や供給力の減退等が逼迫した状況にある企業も多く、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	○	△	○
鉄鋼・金属	×	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	△	△	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	×	△	—	△	×
その他	△	—	○	△	△	△	—	○	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0
木材・木製品	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	-25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0
鉄鋼・金属	-50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	-8.0	-4.0	4.0	0.0	-4.0	0.0	8.0	-4.0	-16.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	-42.9	-28.6	0.0	-28.6	-28.6	-28.6		0.0	-14.3
サービス業	33.3		16.7	0.0	16.7	33.3		16.7	33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
その他	0.0		50.0	0.0	0.0	0.0		50.0	0.0
非製造業	-11.1	-20.0	7.4	-3.7	-7.4	0.0	7.4	-3.7	
全体	-9.6	-8.6	5.8	-1.9	-5.8	0.0	8.0	1.9	-9.6

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	前月比
売上高	-11.5	-30.8	-17.3	-17.3	-15.4	-21.2	-15.4	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	-7.7
在庫数量	-5.7	-11.4	-22.9	-22.9	-31.4	-28.6	-14.3	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-8.6
販売価格	-3.8	-7.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8
取引条件	0.0	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	-1.9
収益状況	-13.5	-32.7	-25.0	-9.6	-23.1	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-1.9
資金繰り	0.0	-11.5	-9.6	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-1.9
設備操業度	-24.0	-16.0	-28.0	-16.0	-16.0	-8.0	-4.0	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	12.0
雇用人員	3.8	3.8	-1.9	0.0	0.0	0.0	-5.8	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	5.8
業界の景況	-30.8	-38.5	-38.5	-32.7	-30.8	-28.8	-23.1	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-1.9

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-25.0	-50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	50.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0
製造業	0.0	-4.0	12.0	0.0	8.0	4.0	12.0	0.0	-4.0
卸売業	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-33.3
小売業	-42.9	-28.6	-14.3	-14.3	-14.3	-28.6		28.6	28.6
サービス業	-16.7		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-25.0
その他	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		50.0	0.0
非製造業	-14.8	-20.0	-3.7	-3.7	-11.1	-7.4		11.1	0.0
全体	-7.7	-8.6	3.8	-1.9	-1.9	-1.9	12.0	5.8	-1.9

特記事項

情報連絡員報告（平成29年5月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	大きな変化はないが、栃木県がプレDCに入り、これからの観光客の増加に期待している。
外衣・シャツ製造業	底値安定といったところ。現況を良しと考えた方が正しいと思う現在である。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	春夏シーズンも反応イマイチであった。 早い所では7月から来シーズンの企画が始まるので、そこに向けて各社とも新提案に注力しているところである。
一般製材業	5月は大型物件の受注があり、予想以上の加工増となった。6月も今現在順調に物件が入ってきているので期待しているところである。
建具製造業	5月に入り、総じて仕事量は少ない。
木材・木製品製造業	今後、為替の影響で輸入材が心配。今年度は国産材の割合を増やせるかが課題。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など、厳しい経営環境に変わりはない。 明るい話題が聞こえてこない。
陶磁器製造業	テレビ東京で益子が陶器市前に放映されたことによりお客様は多く来てくれたが、全体的な売上げは去年と変わらなかった。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…スバル関連が相変わらず活況である。今後も同様に推移するものと思われる。 機械設備関連…大型機械設備は不変、中小型設備が増加している。 プレス金属関連…5月より受注が増加している。この状況は今年いっぱい続く予定である。
金属製品製造業	冷蔵庫・エアコンの今年度(29年度)の立上りが遅い。
一般機械器具製造業	多少受注量がでてきたものの、原材料費が上昇気味になっており、売上に転嫁できない状況にあるため、まだまだ収益に結びついていない。
一般機械器具製造業	トランプ景気に陰りが見え始め、若干下降気味に動いているように思える。
一般機械器具製造業	本年5月の報告は前年同月と比較し、一部の企業を除き全体的に不変という報告を受けた。しかし、材料等の仕入れ単価の上昇傾向ありとの報告も受けている。また、企業各社間での格差があるものの一部の企業では売上高の増加も期待できるとの報告があった。
各種商品卸売業	<p>例年（4月1日現在）実施している当団地内組合員等を対象とした調査結果によれば、平成29年4月1日現在での団地内総従業員数は、1,242人（正規1,048人、非正規194人）で、対前年度との対比では（正規39人増、非正規20人減）計19人の増であった。</p> <p>※近年有効求人倍率が上昇を続けている一方、中小企業においては人手不足が深刻化してきており、働き方改革への取り組みなどを通して生産性を向上させるかが喫緊の課題となってくる。</p>
食肉小売業	国内産食肉全般の価格が高騰している。輸入物の現地価格は高く、鶏肉については、偽装問題で輸入制限があり、相場が高騰している。販売面では、季節の変わり目で売れ行きも不振である。

各種商品小売業	連休の人出は前年より多かった様子だが、売上等には反映されたようには感じられず、まだまだ景況は厳しい。
各種商品小売業	客数前年比に関しては、前年とほぼ同等水準であったが売上は大幅に落ち込んでしまった。当初の計画では5月オープン予定であった新規テナントの開店の遅れによるところも大きい。しかし、6月中旬には確実にオープンする目処も立ち、リーシングに関しては一先ず落ち着いた為、次月以降に期待したい。
花・植木小売業	花屋にとって需要がしっかりと見込める期待の高い母の日商戦だが、今年は昨年と曜日回りが変わりゴールデンウィークから1週おいての母の日となった。その日の回りが影響してなのか、事前注文の動きはやや鈍く、また前日の土曜日は生憎の雨となり小売には厳しい販売となった。当日は天気も回復し売れ行きも好調だったが、全体としては例年に比べ売り上げを落としたとの声が多く聞かれた。今年も百貨店やスーパーなどの母の日商戦をみると、お花のほかにも多様化するニーズに工夫を凝らしている。これからも、お花を選んでいただくための販促活動などを話し合い、進めていきたい。
自動車整備業	この時期、自動車税納税の関係から売上増の傾向があるが、例年に比べ増加が見られない状況である。
ビルメンテナンス業	人手不足のため、官公庁入札の仕事で落札を手控える傾向もある。全体として前年度並みの収益を確保できている状況。
給食センター	新規の得意先やスポットの弁当売上があった為、売上高は前年同月比で増加となった。新調理法で製造のシニア向け弁当の拡販等・コストダウンにより、収益は改善されていくと思われる。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。5月・6月は各種団体の総会時期にあたり、例年通り推移している。
旅館・ホテル	5月の宿泊者数は、軒数で増加した宿が減少した宿を若干上回った。また、GWのピークは今年も5月3日・4日のみであった。一方、観光施設の入込は、後半が盛況だったものの、GW明けは弱かった。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは331%増、敷物用ラベルは12%増、壁装用ラベルは160%増であった。ラベルの支給（売上）金額では50%増であった。本年4月～5月累計では、前年同月比カーテン用ラベル197%増、敷物用ラベル22%増、壁装用ラベル36%増であった。
一般貨物自動車運送業	燃料価格においては若干値下がりしたが、ほぼ横ばい状態で推移した。ドライバー不足が深刻で、労働環境改善など労働力確保のための改善が必要である。
貨物軽自動車運送業	ゴールデンウィーク後、スポット便の貨物受注量は大きく落ち込み、低迷が続いている。なお、これまで堅調に推移してきた建設貨物や精密機器などの関連貨物の受注量も陰りが始めている。景況感は一進一退となっている。また、人手不足と高齢化の進展により大きな機会損失を招いている。
一般乗用旅客自動車運送業	週末の利用客は好転しているが全体では少し売り上げが落ちている。餃子店への来店者は週末、祭日等はお客様が列をつくっている状況、これをタクシー利用者に繋げることが出来ればと思う。
大谷石採石業	前年同月比で微減。4月1日からの値上実施の実態が気になる。会員の中に、外国人労働者の期限で全員帰国し、労働人員を補う為に日本人の若手を募集して雇ったとのこと。技術の伝承ができないとの反省からとのことであった。